

料金後納
ゆうメール

一幸建設は昭和53年の設立以来、三河エリアで地域密着の建築と不動産に携わる会社です。本来ならば直接ご挨拶申し上げるべきところ不躱ではございますが、私どもの会社を知っていただきたいとの思いから、一度でも名刺交換などご縁を賜りました方に、ニュースレターを送付しております。『みんなの幸せをカタチにする』仕事を通じて関わる全ての人との幸せと社員の日々成長を糧に、地域の皆様に必要とされるお役立ち企業を目指しております。東三河での建築と不動産に関することでしたら、小さなことでもお気軽にご相談ください。
代表取締役 山本敬輔 営業スタッフ一同

一幸建設 SDGs 宣言 達成に向けての取り組み



豊橋市 SDGs 推進パートナー企業に登録して3年が経ちました。弊社の事業活動に於いて2030年のゴールに向けて掲げる6つの達成目標への取り組みを、これまでに5つ紹介しましたが、一番実現のハードルが高いであろう【目標17】『パートナーシップで目標を達成しよう!』の取り組みについて発表します。

SDGs 目標17は、持続可能な開発目標を達成するには、国際機関、政府、企業、市民社会、全てのステークホルダーが連携し共通の目標に向けて協力し合うことで、高い次元での持続可能性を生み出せるという考え方が基本にあります。中小企業では微力かもしれませんが、地域の住宅・建築物の生産・販売・賃貸に従事する企業として、政府が掲げる **2050年カーボンニュートラルの実現にむけて、『省エネ性能表示制度』の担い手になることを第一の目標として掲げます。** CO2 排出量全体の約3分の1を占める住宅や事業建築物は、新築だけでなく、既存建築物に於いても、エネルギー消費量・CO2 排出量の更なる削減が求められています。

まだ認知度が低いのが現状ですが、**今年の4月1日以降に建築確認申請を行った新築（住宅・非住宅）の販売・賃貸事業者に対して、広告等への省エネ性能表示の努力義務が課されました。**（既存建築は推奨）

2024年4月スタート!
これからよろしく。
省エネ性能ラベルです。

住宅・建築物の省エネ性能はあたりまえ
そんな未来が、すぐそこまで。

2024
・省エネ性能ラベル表示制度開始

2025
・省エネ基準適合義務化
※建築確認適判が必須

2030
・新築建築物のZEH・ZEB水準の性能確保

2050
・既存ストックも含めZEH・ZEB水準の性能確保

この建物のエネルギー消費量 **65%削減**

★★★★★
ZEB

BELS

建築物省エネルギー性能表示制度
国土交通省告示第147号(2024年3月29日交付)

2050年のストック建築の未来を先取りしたZEB化ショールーム

築32年のオフィスビルのリユースを実現!
省エネ改修技術のみで再生エネルギーを除いたエネルギー消費量を54%に削減



国土交通省によると、法人等の非住宅建築物（事業用建築物）の竣工面積は1991~2000年が第一位、1981~1990年が第二位となっています。今後10年の間に築30~40年を迎え、耐用年数を超える建物が急増、ストック建築におけるZEB化需要の増加が予測されます。弊社のみでの実現することは困難ですが『豊橋市では省エネ建築があたりまえ』そんな未来の実現に向けて、SDGs 目標17を掲げ、ZEB化リフォームによる**建築リユースの普及**への取り組みを一步一步進めてまいります。

地元密着東三河での不動産と建築のことなら小さなことでもお気軽にご相談下さい!
※ニュースレターがご不要な場合はお手数ですが0532-46-9336まで

